

教科	図画工作	学年	第6学年
----	------	----	------

単元名	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
名画のカケラから	○名画の一部(カケラ)から全体を想像し、新たな世界を広げていく。	○名画の一部の形や色、材質などの造形的な特徴に着目している。	○名画の一部から全体を想像し、自分なりの物語やイメージをもって絵に表している。	○作品の面白さや楽しさを感じ取り、進んで表現しようとしている。
伝統文様から広がる世界	○伝統文様を組み合わせて画面を構成し、彩色版画で表現する。	○伝統文様についての理解を深め、形や色の組み合わせと、そこから生まれる奥行きや関係性を理解している。	○構図の取り方やバランスなどを考えながら着色を工夫している。	○伝統文様のよさを感じ取り、工夫して表現しようとしている。
輝け！未来の自分	○自分の未来について想像し、自分の表したいことに合わせて材料や用具を選択し、形や色、材料の特徴を生かし工夫しながらつくる。	○自分の表したい夢を決め、その場面を表すために、様々な方法を試み、意図した効果を表そうとしたり、自他の作品を自分の思いをもって味わおうとしたりしている。	○未来の自分の姿や場面が表れるよう、形や色、材料、配置などを考えている。 ○未来の自分の姿や場面が表れるよう、材料や用具の特徴を生かして使い、表し方を工夫している。	○未来の自分の姿を生き生きと表現することをたのしもうとしている。

令和8年度 評価規準

学校名:江戸川区立西小岩小学校

<p>墨の達人</p>	<p>○墨で描くことよさや美しさを感じながら、墨の特徴を生かしていろいろな用具や技法を使って描くことをたのしむ。</p>	<p>○墨で描くことを通して、にじみややすれ、動きやバランス、色の感じなどを理解している。 ○表したいことに合わせて墨の技法や用具による効果を選んだり組み合わせたりして、表し方を工夫して表している。</p>	<p>○墨の技法や用具によってできる形の感じなどから表したいことを見つけ、どのように表すか考えている。</p>	<p>○自分や友達の作品の工夫したところ、表し方の違いやよさを感じ取り、自分の見方や感じ方を深めている。</p>
<p>見上げた先には…</p>	<p>○学校の敷地内の場所の特徴を生かし、変身させる活動を通して、発想・構想する力を培う。</p>	<p>○見慣れた場所に新たな材料を組み合わせることを通して、動きや奥行きを理解している。</p>	<p>○自分や友達の活動の造形的なよさを感じ取り、自分の見方や感じ方を深めている。</p>	<p>○友達と力を合わせて活動する喜びを味わい、場所を変身させる学習活動に主体的に取り組もうとしている。</p>
<p>たからものどけい</p>	<p>○電動系のこぎりや彫刻刀の経験を生かして時計をつくる。</p>	<p>○電動系のこぎりや彫刻刀の安全で正しい使い方を身に付けている。</p>	<p>○主題を明確にして立体感を意識しながら工夫して表している。 ○時計のデザインに合った画材の選択や色の感じを考えている。</p>	<p>○電動系のこぎりや彫刻刀の正しい使い方を身に付け、進んで取り組もうとしている。</p>